

コミュニケーション論Aによろこそ！

座り方

154人に履修許可が出ています。
隣を空けて距離を保ちつつ、小グループ対話も可能な座り方を工夫しました。

入り口でクジを引いて。

数字 **X - Y** は

X : 前から何列目

Y : 左から何席目 (間を空けて色のついた席のみ)

(例)

3-5 : 前から3列目、
左から5席目 (中列の右端)

18-2 : 前から18列目、
左から2席目

各列7人 × 22列 = 154人

(教室は286席、定員の7/13で154人)

前方: 教壇・ホワイトボード

左列 $2 \times 22 = 44$

中列 $3 \times 22 = 66$

右列 $2 \times 22 = 44$

	1	2		3	4	5		6	7
1									
2									
3						3-5			
4									
5									
6									
7									
8									
9									
10									
11									
12									
13									
14									
15									
16									
17									
18		18-2							
19									
20									
21									
22									

後方: 入り口

左列 $4 \times 11 = 44$

中列 $3 \times 22 = 66$

右列 $4 \times 11 = 44$

	1	2	3	4	5	6	7
1		1		12			34
2				13			
3		2		14			35
4				15			
5		3		16			36
6				17			
7		4		18			37
8				19			
9		5		20			38
10				21			
11		6		22			39
12				23			
13		7		24			40
14				25			
15		8		26			41
16				27			
17		9		28			42
18				29			
19		10		30			43
20				31			
21		11		32			44
22				33			

小グループの作り方

4人（左・右列）か3人（中列）の小グループに分かれます。
左の赤い数字がグループ番号。

左・右列は奇数列2人が内側に膝を入れて振り返って、偶数列の2人と4人組を。

中列は各列ごとの3人で3人組。
（真ん中的人是少し引き気味で、両側の2人は内側に膝を入れて）

中野と高尾で声に出して呼んでいくので、自分のグループ番号をメモして覚えてください。

(4人組 × 11列) × 左右2 = 88人
3人組 × 22 = 66人
合計: 154人



LAH.H107

コミュニケーション論 A

第1回オリエンテーション

* 写真は2019年度のこの授業@W9-716

2022.6.13

リーダーシップ教育院・リベラルアーツ研究教育院教授

中野民夫 tamio.nakano@me.com

高尾隆 takao [at] takashitakao.net

(オブザーブ; 鈴木武雄)

ようやく対面だあ！
154名の皆さん、どうぞよろしく。

- ようこそ「コミュニケーション論A」へ！
 - 久々の対面。今年は教員2人で。
 - 中野民夫：今年で定年退職、高尾隆：今年度から東工大
- 参加と体験と相互作用を重視した授業です
 - 仲間とたくさんコミュニケーションします。
- **一人ひとりが大事。**
 - 「自分がいてもいなくても変わらない」授業ではない
- 皆さんの**積極的な参加**と協力が不可欠。
 - たくさん対話・体験し、一緒に考え、学び合います。
 - 苦手？大丈夫、ゆっくり少しずつ慣れていこう。

2人の教員はどんな人？

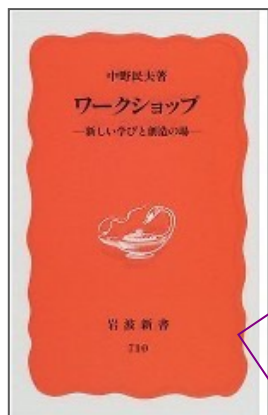
- 中野民夫と高尾隆
- どんな人？
- 自己紹介した後、少しお互いにインタビューし合いませんか？

担当教員1：中野民夫



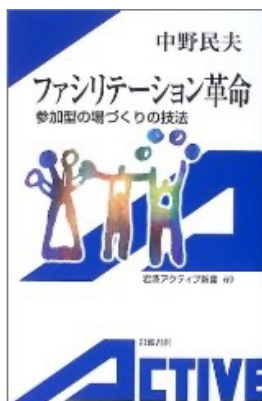
- リベラルアーツ研究教育院(ILA)教授
 - 環境・社会理工学院 社会・人間科学コースも担当
 - 元は企業人（博報堂に30年）。2012年から同志社教授、15秋から現職
- 専門：コミュニケーション論
 - ワークショップ、ファシリテーション」（参加型の場づくり）
 - マインドフルネス（今ここへのありのままへの気づき）、環境教育
- 大学時代は、世界を一人旅。見田ゼミ、ワングル、文学部宗教学科卒
- ワークショップ企画プロデューサー（2001から）
 - 休職留学（89–91）CIIS組織開発・変革学修士、『ワークショップ』出版から
 - 市民活動、NPO/NGO、企業、行政、まちづくり、研修、学校教育等でWS
- 自然が好き。屋久島に拠点「本然庵」（道場、リトリートセンター）
- 遅咲きのシンガーソングライター（57歳から歌が！）
- 毎朝YOGAしてます。62歳から絵を描いています。料理も好き。

主な著作



18刷!

ワークショップ
新しい学びと創造の場
(岩波新書、2001)



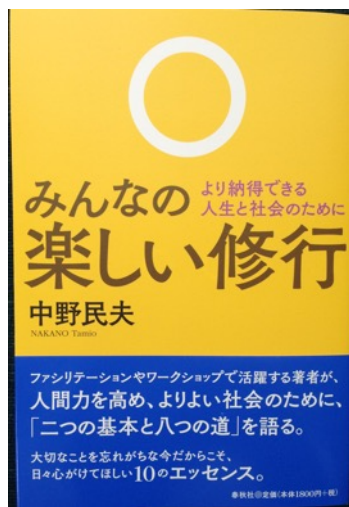
9刷!

ファシリテーション革命
参加型の場づくりの技法
(岩波アクティブ新書、2003)
*現在、電子出版のみ



8刷!

ファシリテーション
実践から学ぶスキルとところ
(共著、岩波書店、2009)



みんなの楽しい修行
より納得できる人生と社会のために
(春秋社、2014)



スピリチュアリティと教育
(共著、ビーイング・ネット・プレス、2015)



ファシリテーションで大学が変わる
(三田地真実後共編著、ナカニシヤ、2016)



6刷!



えんたくん革命

1枚のダンボールがファシリテーションと対話と世界を変える
(川嶋直と共著、みくに出版2018)



進化するマインドフルネス

ウェルビーイングへとつづく道
(飯塚まり編、共著、創元社2018)

学び合う場の作り方

--本当の学びへのファシリテーション
(岩波書店2017)

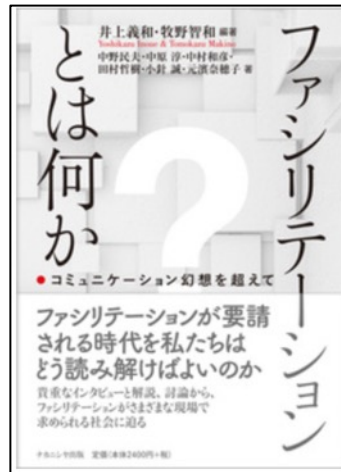
看護のための ファシリテーション

学び合い育ち合う
組織の作り方
(中野民夫・浦山絵里・森雅浩著、医学書院、2020)



新・大学で 何を学ぶか

(上田紀行編著、岩波ジュニア新書、2020)
*東工大リベラルアーツ研究教育院の14人の先生たちの共著
中野は「大学時代、僕は何よりも旅から学んだ」



新刊

ファシリテーション とは何か?

(井上義和・牧野智和編著、ナカニシヤ出版、2022)
*若手教育社会学者2人の編集の共著

担当教員2：高尾隆



- リベラルアーツ研究教育院(ILA)教授
 - 環境・社会理工学院 社会・人間科学コースも担当
 - 2006年から一橋大学教員。2009年から東京学芸大学教員。2022年から現職
- 専門：コミュニケーション論
- 授業：コミュニケーション論C、文系エッセンス：コミュニケーション論、人文学系ゼミ（インプロ／吹奏楽）など
 - 人文学系ゼミでは15人のインプロに関心のある学生、33人の吹奏楽に関心のある学生が実践しながら学んでいます
- Twitter：@takaotakashi Instagram：takashitakaonet

インプロ（即興演劇）

- ・学校、劇場、企業、地域などで創造性・イノベーション、コミュニケーション、チームワーク・リーダーシップ・組織開発などをテーマとしたインプロワークショップをおこなう
- ・主宰するインプログループ「即興実験学校」ではワークショップをおこなうかわら、舞台にも立つ <https://improlabo.net>
- ・著書に『インプロ教育：即興演劇は創造性を育てるか』『インプロする組織—予定調和を超え、日常をゆさぶる』（中原淳氏との共著）など



吹奏楽教育

- ・ 2016年秋から1年間、ノーステキサス大学音楽学部吹奏楽研究室客員研究員として指揮法を学ぶ
- ・ 学校吹奏楽の指導にあたりながら吹奏楽教育の実践と研究を進めている



第1回：全体のオリエンテーション アジェンダ 1420-1600

- 1420- オリエンテーション、授業の概要
- 1440- 小グループ対話 1：チェックイン
- 1500- 「コミュニケーションの様々な形」
 - 中野民夫の活動紹介・東工大の魅力紹介
 - (小グループでの対話 2)
- 1530- 高尾隆の活動紹介
- 1545- 小グループでの対話 3
- 1555- 次回、フィードバックシート記入、
- 1600 終了

授業の概要

「コミュニケーション論A」

講義の概要とねらい (シラバスより)

- 「立志プロジェクト」の少人数グループワークの精神を受け継ぎ、人と人との「(生身の) **コミュニケーション力**」の向上を目指す。
- 人は社会的な存在であり、人と人が話し合うなかで一緒に考えたり学んだり創ったりすることは、私たちに必要不可欠であるだけでなく、根源的な**喜び**に通じる。
- 本講義では、学生の**参加・体験・相互作用**を大切にする**ワークショップ型の授業**で、コミュニケーションについて様々な観点から学び合い、創造的な対話を実践する力の向上を図る。
- ねらいは、議論と創造的な対話の違いを知り、**自己紹介、インタビュー、対話、ワークショップ、インプロ(即興演劇)**などの**体験**を通して、楽しみながらコミュニケーション上手になってもらうこと。

到達目標

(シラバスより)

- 1) 初対面の人と**創造的な対話**をすることの楽しさと難しさを理解し、自分から話を広げるきっかけを作れる。
- 2) **良き話し手**として適切な自己表現ができるようになるとともに、**良き聴き手**として話しやすい場の雰囲気を作れる。
- 3) 現代社会に不可欠な**協働**（コラボレーション）と**共創**（コクリエーション）の基礎的な素養が身につく。

全体の流れ（案）

状況に応じて変更あり

- 1) 6.13 : オリエン、グループワーク体験
- 2) 6.20 : コミュニケーションの基礎スキル
- 3) 6.27 : 相互インタビューと他己紹介
- 4) 7. 4 : ワールドカフェ（全員参加の対話）
- 5) 7.11 : 創造的コミュ実習 : インプロ1
7.18は海の日でなし
- 6) 7.25 : 協働的コミュ実習 : インプロ2
- 7) 8. 1 : ふりかえりワールドカフェ

さっそく皆さんも対話へ 導入ワーク①：チェックイン

- 「どんな人がどんな思いでここにいるの？」
 - 会の初めに全員が一言ずつ話して共有すること。
 - 皆が口を開く→お互い少しわかる→参加意欲up→安心安全な場に
 - グループの作り方は次ページ
- A4紙四つ折り、お題（問い）に対するキーワード
 - 次頁の項目のまず1）と2）について大きく書いて。
- 一人ずつ見せながら話し、一巡したら自由に。
 - 順番：左前から時計回りで
 - 時間：1）と2）合わせて1人1分計4分（+30秒）
 - 1分の感覚に慣れよう。終わりの合図（チーン）します。
 - 一人ひとりに歴史あり。何かのご縁。関心を持って聴き合おう。

左列 $4 \times 11 = 44$

中列 $3 \times 22 = 66$

右列 $4 \times 11 = 44$

	1	2	3	4	5	6	7
1		1		12			34
2				13			
3		2		14			35
4				15			
5		3		16			36
6				17			
7		4		18			37
8				19			
9		5		20			38
10				21			
11		6		22			39
12				23			
13		7		24			40
14				25			
15		8		26			41
16				27			
17		9		28			42
18				29			
19		10		30			43
20				31			
21		11		32			44
22				33			

小グループの作り方

4人（左・右列）か3人（中列）の小グループに分かれます。
左の赤い数字がグループ番号。

左・右列は奇数列2人が内側に膝を入れて振り返って、偶数列の2人と4人組を。

中列は各列ごとの3人で3人組。
（真ん中的人是少し引き気味で、両側の2人は内側に膝を入れて）

中野と高尾で声に出して呼んでいくので、自分のグループ番号をメモして覚えてください。

(4人組 × 11列) × 左右2 = 88人
3人組 × 22 = 66人
合計: 154人

1) どの誰

所属、名前、
(出身、サークルなど)

2) 好きなこと・ 最近よくやってること

導入ワーク①つづき

- 最初の顔合わせ、いかがでしたか？
- さらに、もう少しお互いに知り合おう。
- 3) と 4) を話しあうので、先にメモを。
 - 3) 東工大に入ってこれまでの印象、特に立志プロジェクトはどうでした？
 - 4) 今の時点での「志（やりたいこと）」は？

3) 東工大に入っ
てこれまでの印象、
特に立志プロジェ
クトは？

4) 今の時点での
「志」 (やりたい
こと) は？

導入ワーク②

- 顔合わせ、いかがでしたか？
- さらに、もう少しお互いに知り合おう。
- 3) と 4) を話しあうので、先にメモを。
 - 3) 東工大に入ってこれまでの印象、特に立志プロジェクトはどうでした？
 - 4) 今の時点での「志（やりたいこと）」は？
- 一人ずつ見せながら話し、一巡したら自由に。
 - 順番：左前から時計回り／左から順に
 - 時間：1) と 2) 合わせて1人1分計4分（+30秒）
 - 3人の所は1人1分20秒
 - 1分の感覚に慣れよう。終わりの合図（チーン）します。
 - 一人ひとりに歴史あり。何かのご縁。関心を持って聴き合おう。

全体で、少しふりかえり

- どんな気づきや発見がありましたか？
 - 同じようなことをやっても、人によって感じることは違う。
 - その多様性から学び合いたい。
 - 「体験」は振り返ることで「学び」になる。

ところで、改めて 「コミュニケーション」って何だろう？

「コミュニケーション」と聞いて、思い浮かぶことを、
今、チャットに書いてみてください。

と言えないところが対面の辛いところだね。

オンラインもいいところたくさんあるね。

「コミュニケーション」って何？

- 情報の伝達？（知的）
- 意志の疎通？（意志）
- 気持ちが通うこと？（感情）
- 互いに理解し合うこと？双方向？
- 言葉だけ？非言語って？ジェスチャーは？
- 映像は？歌や音楽は？演劇は？
- イベントは？
- プレゼントは？
 - たくさんの切り口がある。

コミュニケーションの 様々な形

東工大他での中野の実践を紹介。
東工大の多様な魅力を紹介し、
「コミュニケーションのデザイン」
について考えていくために



屋久島に通って39年！

南部の尾之間モッチョム岳の麓に土地を得、家(合宿所)を建てました。

「本然庵」: 本来の自然に戻る庵
(リトリートセンター)

人文ゼミで集中授業予定。



一昨年春、屋久島の30年後を共に考える「イマジン屋久島」の中心メンバーと初ワークショップ



コロナで、6月屋久島の公民館での「イマジン屋久島」ワークショップにはズームでゲスト参加。



5 ^
参加者

チャット

画面を共有

レコーディング

反応

持続可能な屋久島づくり構想：イマジン屋久島
2020年からのべ924人とワークショップを行い、ビジョンとアクションをまとめた

imagine
Yakushima

イマジン屋久島

イマジン屋久島とは ヴィジョン レポート お知らせ

想像し創造しよう みんなの屋久島

次の30年へ イマジン屋久島

imagine
Yakushima

世界中から“自然との関わり” を学びにくる島へ

島内の小中高生や大人はもちろん、様々な世代が世界中から屋久島を訪れ、持続可能な社会のあり方を学べる仕組みや体制のある屋久島にしてゆきます。多様な切り口の体験できる学びの場づくりを通して「水と命の循環」や、暮らしに関わる様々な技術を学べる島へと進化します。



水の島、屋久島 水のチカラで豊かに暮らす

この先の未来も、水の基でエネルギーを自給するだけでなく、島外へも供給できる屋久島へ、燃料を風力や水力で供給する環境負荷を減らしながら、豊かに屋久島の暮らし方を続けます。



千年先の豊かさを想像しながら はぐくむ森づくり

島の暮らしを支えてきた森の仕事を進めて学び、これから先の未来も受け継いでいく仕組みが必要となります。森を守り、育むための木の仕度や植樹を体験したり、屋久島の水を通じたワゴロクを考え、つって、届けます。先人たちが大切にしてくれてきた森と人の営みを、千年先まで続いていく屋久島を目指してゆきましょう。



屋久杉のように豊かに 安心して歳を重ねる島

心も体も輝くように生き生きと暮らし、暮らすように楽しむことが出来る屋久島。歳を重ねても、安心して暮らせる介護サービスや、障害を関係なく暮らせる生活支援施設、ワクワクできるコミュニティ、おどろきの特技を活かし、助け合いながら、それぞれが満ち足りる島のあるあり方を考えます。



子どもも大人も成長し続けられる 屋久島だからできる子育てを

地域で手を取り合いながら、子育てをする島。縦どしや地域とのネットワークやコミュニティがなくなり、安心して暮れる人に囲まれながら子育てができる。子ども達が思う存分に自然の中で遊べる。雨の日でも楽しめる子育ての島へ、「屋久島で子育てをしたい!」と思われる島へと。



いつでもどこでも水が美味しい! 水源の保全を屋久島から

川の水が飲めることが当たり前の地球へと、少しずつ再生してゆくために、いつでもどこでも川の水が飲める屋久島を体験してもらい、水源の保全を世界に広がっていきます。



「山10日、海10日、里10日」 島の暮らし方を未来につなぐ

人口減少とともに薄れてきている、自然と調和した島の伝統的なライフスタイル。移住者や観光客、ITなどテクノロジーのチカラも活かしながら、空き家の再生や移住体験の場所を整備して、集落を持続させます。24歳層それぞれの持続可能なライフスタイルや伝統、文化を後世に継いでいくような仕組みを考えます。



世界に誇れる大自然で 屋久島をもっと遊び尽くす

世界的にも数多く美しい自然を五感で遊べる島でありつづける。アドベンチャーリズムや、様々な野外アクティビティの創出を、環境負荷を下げながら、より楽しめる仕組みをつくります。

森、川、里、海からつながっていく 豊かな海を、未来へと

屋久島の豊かな海を守り、育むための様々な活動がこれからも進められます。ブルーツーリズムや水産資源の開発など、海の恵みを受け取りながら活かすことを、海での活動だけでなく、川の中や里でも海を想いやるアクションを育てていきます。

私たちが生態系に還る 地球の循環の中の暮らしへ

未来を心配するのではなく、未来を愛する暮らしへと意識と行動を変えてゆきます。ゴミの減量やリサイクル、自然の恵みでできる商品の選択など、未来への可能性を創っていくものを選択し、可能性をつなげる行動を促していくことで、私たちがこの先に期待できる未来を創っています。

仕事や食がつながりあい 生かしかう循環する島へ

定めてゆくのに欠かさない、食べることとお金を得ること。農産、林業、畜産業、森林でのガイドや観光そのものが環境を回復させる形へ進化し、そんな仕事が増えつづけます。島のものが豊かされて、お金やものが島内で循環する、生態系のように活かしたい屋久島へ。



自然と共生...
屋久島憲章...



屋久島の美しさを感じることに 日常にある美しさに 気づいていられるように

屋久島の多様な美しさを世界に発信し続ける。その責任を次世代の子とともにも屋久島の未来を学び、誇りに感じながら、30年後の子とともにも屋久島を誇りに思い、発信する環境を生み出して、そのために、屋久島自然の中で美しさを思いだせる人、美しさに心をひらく人が多くなっていくことを願います。

はるか昔から 魂を揺さぶりつづけた 自然への畏敬の想いを受け継ぐ

森林の保全と活用で人々が暮らし、愛護してきた島であることを忘れずに、屋久島の自然から受けられる警告を受け取ります。自然に象徴されるような、畏れ敬って来た自然に対する人のあり方から、私たちも学び続け、それを体現し続けます。このことを通じて、「自然との共生」として人間としてのテーマを正しくとらえ、これから未来の世代へと伝えていきます。



新しい風が運んでくる種 島の可能性と一緒に育む

新しい文化を運んでくれる島外からの人々たちを大切にします。観光客、移住者だけでなく、アーティストや研究者など様々な人が長期滞在する環境を整えたり、近隣の島々との交流を促したりなど、多様な人が訪れ住む島のあり方を大切にしています。



屋久島の今は? 地球の今は? 想像してこよう、イマジン屋久島

みんながイマジンする屋久島に対して、今どこまで来ているのか? 例えれば屋久島憲章に対してどこまでやっているのかを検証してあたり、島や海の生き物たちが今どういう状態なのかを把握し続けたり、屋久島の現在地を、地層の現在地を、確証しながら、私たちのイマジンの理想に向かってゆきます。



イマジン屋久島の 新しい動きは web へ





<キーワード1>

ワークショップ (WS) とは

- “workshop” :
 - 工房、仕事場、共同作業場。一緒に創る場
- 「講義など一方的な知識伝達のスタイルではなく、参加者が自ら参加・体験して共同で何かを学びあったり創り出したりする、学びと創造のスタイル」 (『ワークショップ』中野、岩波新書、2001)
- 「参加」「体験」「相互作用」が鍵

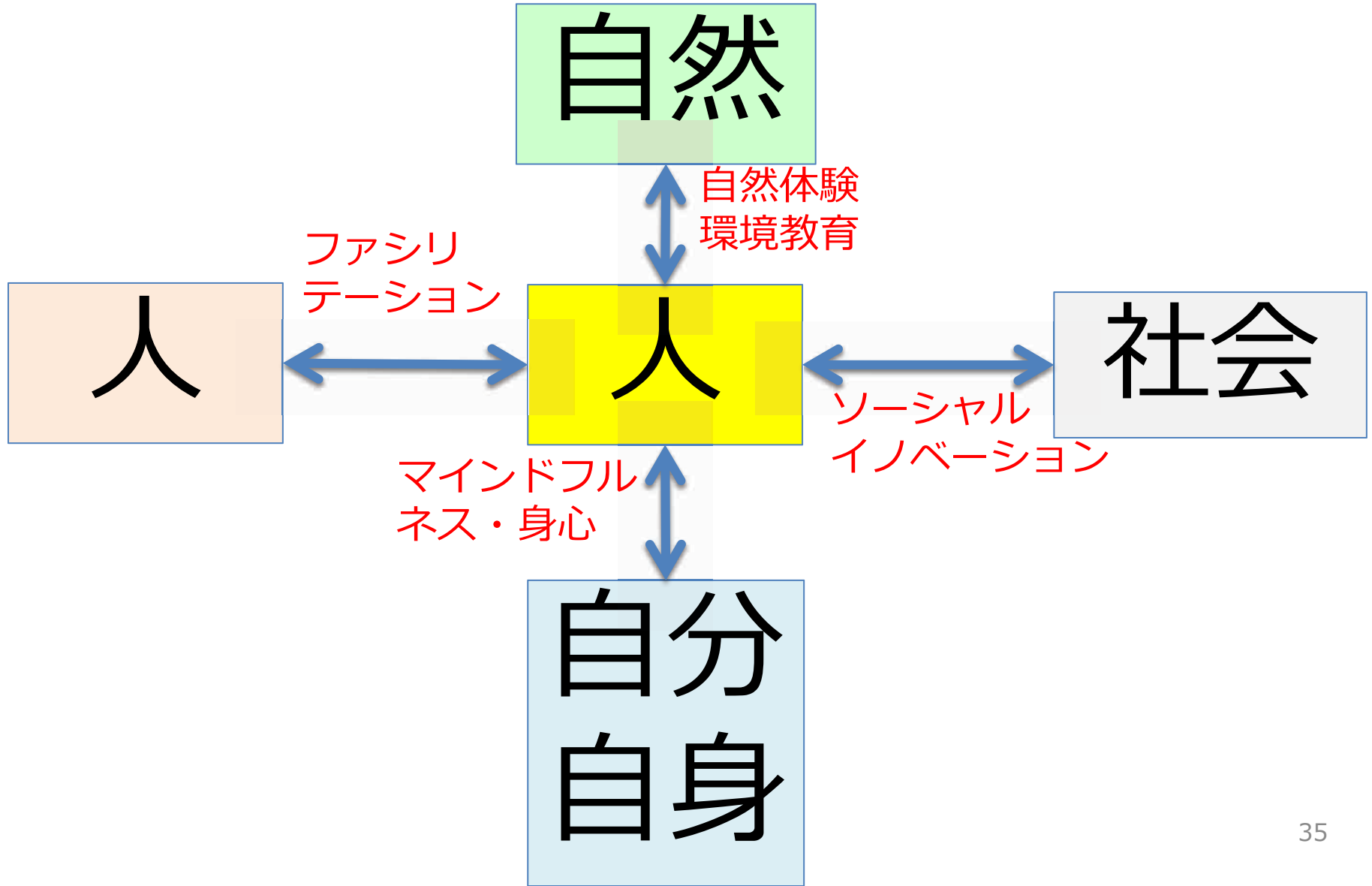
<キーワード2>

ファシリテーション (F) とは

- “facilitate”
 - 「促進する」「<事を>容易にする」
- 「人々が集い、何かを学んだり、対話したり、創造しようとする時、その過程を、参加者主体で、円滑かつ効果的に促していく技法」 (中野2012)
- 新しい時代のリーダー (シップ) = 「ファシリテーター型リーダー」

人と人・自然・自分自身、社会を
「つなぎ直す」仕事

the work that re-connect



We are all children of the earth.

私たちは、みんな「地球の子ども」たちです。

Native Americanの世界観

を実感したい！











CD「自分の至福についていこう」

オリジナルソング14曲収録



Amazonで
買えます！

「自分の至福についていこう」 = 若い人たちへのメッセージ

- “Follow your bliss!” by Joseph Campbell
 - 「自分の至福を追求しなさい」（『神話の力』）
 - 意識「自分の至福についていこう！」
 - 「自分の気になることについていこう！」
 - 「生命の滾ること、魂のふるえることについていこう」
 - 「生命（いのち）のときめきに素直になる」
 - （YAMAP創業者、若き起業家の春山慶彦さんの訳）

さっそく一曲贈らせていただきたく。

美しく生きるヒント

- 「内側から美しく生きるヒント」 =
「**比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に**」
 - 元々、民夫流「ヨガの心得」
- 京都の「内側から美しく生きる女性を応援する」場にゲストで行った時、何話そう？
 - そうだ、これを人生のヒントとして話そう。
 - 終わってから、駆け寄ってくる女性が・・・
- 「**頑張らない**」：外の目標に向かって無理するのではなく、内なる動機に従って「**夢中になろうよ**」の意。
 - 好きなことだと試練も苦痛ではなくなるから。
- **歌詞をもとに、ダイアログ（対話）したく。**
気になるところ、チェックしながら聞いてください。

美しく生きるヒント

2018.2.11@本然庵

1. きっとどこかで、もうずっと知ってたはずなのに
つい反対のことばかり、やってきて疲れたよ
人と比べて競い合って勝ったの負けたのと
頑張らなきゃダメ、速くたくさんやらなきゃと

*

内側から、美しく強く生きるには
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に
内側から、美しく楽に生きるヒント
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に

2. 比べてしまうと、周りの人みんなすごく思え
うらやんだり自分なんかダメだと落ち込んだり
でも人には、人それぞれ苦節の歴史あり
私は私だけしか書けない、物語つづろう

3. もっと頑張れ、努力すれば報われるはずと
でも無理してると結局、長くは続かない
楽しいこと、心地良いこと自然に続く
好きこそものの上手なれって昔から言うよね

4. 速く速く、できる奴は仕事速いよと
目一杯走ってきたけれど、心にすきま風
今この、ひとつひとつに気持ちを込めて
ゆっくり丁寧に心ある道歩いていこう

*

内側から、美しく強く生きるには
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に
内側から、美しく楽に生きるヒント
比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に

小グループで対話 2

ぺちやくちゃタイム

- どうよ、この歌詞？
 - 「比べない、頑張らない、ゆっくり丁寧に」だって。
- 先ほどのグループでしばらく意見交換を。
 - 「意見」の原義は「私にはこう思える」という程度のことだそうです。
 - 気楽におしゃべりをお楽しみあれ。

東工大での対話の場づくりの実践

- **「教える」より「学び合う」場を創ろう！**
- 日本の教育の課題：
 - 主体性が育まれない
 - 学習意欲が低い、
 - コミュニケーション力が育ちにくい。
- ワークショップやファシリテーションの経験を生かして、学生同士の対話がある参加型授業を実践してきた。

2018年のコミュニケーション論Aの教室。H101。机、椅子は固定で前向きにぎっしり。



そんな中でも工夫してクジで席を決め、4人組を作り、対話のある参加型授業を実践。



数年前のコミュニケーション論Aの様子

最後は百年記念館で小グループ対話



伝説の「えんたくん」

円形段ボールのシンプルな対話促進ツール



2019年度コミュニケーション論A2回目。W9-716アクティブ・ラーニング対応型教室で



ある年の立志プロジェクト。椅子・机が動かせる教室は少ない。



参加型授業で、対話を通して学びを深め合う。
自分とは違う、多様な他者に刺激されて。

「東工大ステートメント」私たちは何者であるのか？

<https://www.titech.ac.jp/tokyotech2030/>

ちがう未来を、
見つけめていく。




まだ、見たことのないこと
まだ、触れたことのないこと
まだ、信じられていないこと
まだ、想像さえできないこと

だから、何万回という
失敗を楽しめる
闇の中を一人で進み続け
たったひとつの答えを
探し続けることができる
同じ夢を見る人と、
国境も領域も超えて
つながり共に動き続ける
ことができる

この世界にまだ、
ないものを見つけ、
創りだせた喜びそして、
世界の人々の幸せに
つなげていく喜び
私たちは、その喜びを
手にできる入り口にいる

ここには、そんな思いを持つ人たちがいる
予定調和の結論はいらない
前例のあることに興味はない
風変わりなヤツだと言われてもかまわない

何故なら、私たちには私たちにしか見えない
未来があるのだから
東京工業大学

SCROLL DOWN  いいね! 95  シェア  ツイート

東工大ステートメント

Sprit

ちがう未来を、見つめていく。

まだ、見たことのないこと

まだ、触れたことのないこと

まだ、信じられていないこと

まだ、想像さえできないこと

この世界に

まだ、ないものを見つけ、創りだせた喜び

そして、世界の人々の幸せにつなげていく喜び

私たちは、その喜びを手にする入り口にいる

だから、何万回という失敗を楽しめる

闇の中を一人で進み続け

たったひとつの答えを探し続けることができる

同じ夢を見る人と、国境も領域も超えてつながり

共に動き続けることができる

ここには、そんな思いを持つ人たちがいる

予定調和の結論はいらない

前例のあることに興味はない

風変わりなヤツだと言われてもかまわない

何故なら、私たちには私たちにしか見えない

未来があるのだから

Action

尖らせる

私たちは知の源泉は、個人の多様性と先鋭性の中にあると考える。だからこそ、高い「志」を何よりも大切にし、基礎領域から応用領域まで、自由な研究と発想を尊重する。それとともに、"Student-centered"を教育理念に置いて、学生の主体的な学びを重んじることで、世界で活躍する人材の育成を目指していく。

共鳴する

私たちはこれまでの垣根を超えて、新領域・融合領域の教育研究をさらに進める。個人の専門性を尊重しながら、大学が「知の共鳴場」となって、新しい知を持続的に生み出していく。さらに世界との協働、社会との連携を進め、開かれた教育研究機関として、新しい理工系総合大学の形を世界に先駆け実現していく。

実装する

私たちは新たなイノベーションで人々の生活を豊かにするために、大学から生まれた知を様々な形で社会に実装していく。産学連携研究の進化、科学・技術のコンサルティング、アントレプレナーシップ醸成、ベンチャー育成・支援。本学の変わらぬ理念である「新産業の創造」を未来に起こしていくために動き出す。





学生/教員/職員/卒業生全員集合！

東工大の未来を

語り合う

大ワークショップ

～2030年に向けた東京工業大学のステートメント
「ちがう未来を、見つめていく」をもとに～

2017年11月22日(水)14:00～17:30+α

学生・教員・職員・OB全員集合！東工大の未来を語り合う大ワークショップ！



東工大ニュース

カテゴリ別

- 教育
- 研究
- 社会連携
- 国際交流
- 受賞・表彰
- 学生の活躍
- 開催報告
- 来訪者
- メディア
- 大学からのお知らせ
- プレスリリース

月別

- 2017年
- 2016年
- 2015年
- 2014年
- 2013年
- 2012年
- 2011年

学生、教職員、執行部、卒業生200名を集め「東工大の未来を語り合う大ワークショップ」を開催

いいね! 141

ツイート

開催報告

後半に「大ワークショップの紹介動画」あり

<https://www.titech.ac.jp/news/2017/040094.html>

<https://www.youtube.com/watch?v=BnGWwU9RQU>

2017.12.19

11月22日、東工大を支える各構成員のうち総勢207名（学生60名、教員53名、職員66名、執行部・卒業生28名）が大岡山キャンパス生協第一食堂2階コミュニケーション・ラウンジに集まり、「学生・教員・職員・卒業生全員集合！東工大の未来を語り合う大ワークショップ～2030年に向けた東京工業大学のステートメント『ちがう未来を、見つめていく。』をもとに～」が開催されました。本学でも最大規模となった本ワークショップでは、多様な学内関係者が1つの卓を囲み、東工大の一員として「対等」な立場で参加することを合言葉に、東工大の現在とこれからについて熱く語り合い、大いに盛り上がりました。



東工大未来社会デザイン機構(DLab) キックオフワークショップ(2018.10.28)



DLab

Laboratory for Design of
Social Innovation in Global Networks

 Tokyo Tech

Follow Us  

Language Ja 



社会とともに「ちがう未来」を描く 未来社会DESIGN機構

東工大ニュース



[トップページ](#) > [東工大ニュース](#) > 1年間の活動を伝え、社会と共に未来を考えるイベント「DLab Dialog Days 2022」を開催

東工大ニュース

カテゴリ別

- 教育
- 研究
- 社会連携
- 国際交流
- 受賞・表彰
- 学生の活躍
- 開催報告
- 来訪者
- メディア

1年間の活動を伝え、社会と共に未来を考 えるイベント「DLab Dialog Days 2022」を開催

 いいね! 56

 シェアす

 ツイート

シンポジウムとワークショップからなるオンラインイベントに学内外から200人以上が参加

 [社会連携](#)  [開催報告](#)

 RSS

公開日：2022.04.25

「人々が望む未来社会とは何か」を、社会の方々と語り合いながらデザインしていく——。東京工業大学の未来社会DESIGN機構（以下、DLab）は、2018年の発足以来、その目的の実現に向け、多面的な活動を続けています。

東工大ニュース: DLab Dialog Days 2022

<https://www.titech.ac.jp/news/2022/063765>

Day1 (第1日目) シンポジウム

1. "Introduction & Activities" (DLabの2021年度の活動紹介)
2. "未来社会の種"—学生の描く未来社会像— (「未来社会デザイン入門」受講学生による未来社会像の発表と講義に参加した「DLabパートナーズ」の紹介)
3. "未来研究の芽"—未来社会を創出する研究を支援— (研究奨励金「DLab Challenge (ディーラボ・チャレンジ)」の採択者による研究紹介&パネルトーク)
4. "未来創造の幹"—DLab Future Techscapers (ディーラボ・フューチャー・テックスケーパーズ) 動画シリーズ— (未来シナリオ実現につながる研究を考えるパネルトーク)
5. クロージング

Day2 (第2日目) ワークショップ

1. オリエンテーション
2. キーノートスピーチ1「コロナウイルスとは何だったのか?」山口雄輝教授 (生命理工学院 生命理工学系)
3. キーノートスピーチ2「FUTURE: re-generative 未来を再生せよ!」松島倫明『WIRED』日本版 編集長
4. グループワーク、個人ワーク
5. クロージング



Workshop Part2

DLabコラボ企画 Introduction to the Design of Future Society

DLabパートナーズ

2021年度 教養特論
未来社会デザイン入門

- ソニーグループ株式会社
- 旭化成株式会社
- 日本電気株式会社
- 日本ユニシス株式会社
- マツダ株式会社
- 株式会社インスパイア
- 株式会社アルバック
- JSR株式会社
- 日鉄興和不動産株式会社
- セイコーエプソン株式会社



中野 良夫 藤田 博一 池田 仁子
コミュニケーション 未来学 未来学
コミュニケーション 未来学 未来学

(入会費) 2021年度パートナー企業10社

リベラルアーツ研究教育院



Tokyo Tech

立志プロジェクト2022

少人数クラス8 第1回ガイダンス

2021年4月11日(月)

東京工業大学

リベラルアーツ研究教育院(ILA) 教授 中野民夫

tamio.nakano@me.com

数年前：皆で机と椅子を片付け、椅子のみの円形で座ってチェックイン



基本は四人でえんたくんを囲み、書きながら話し合う。

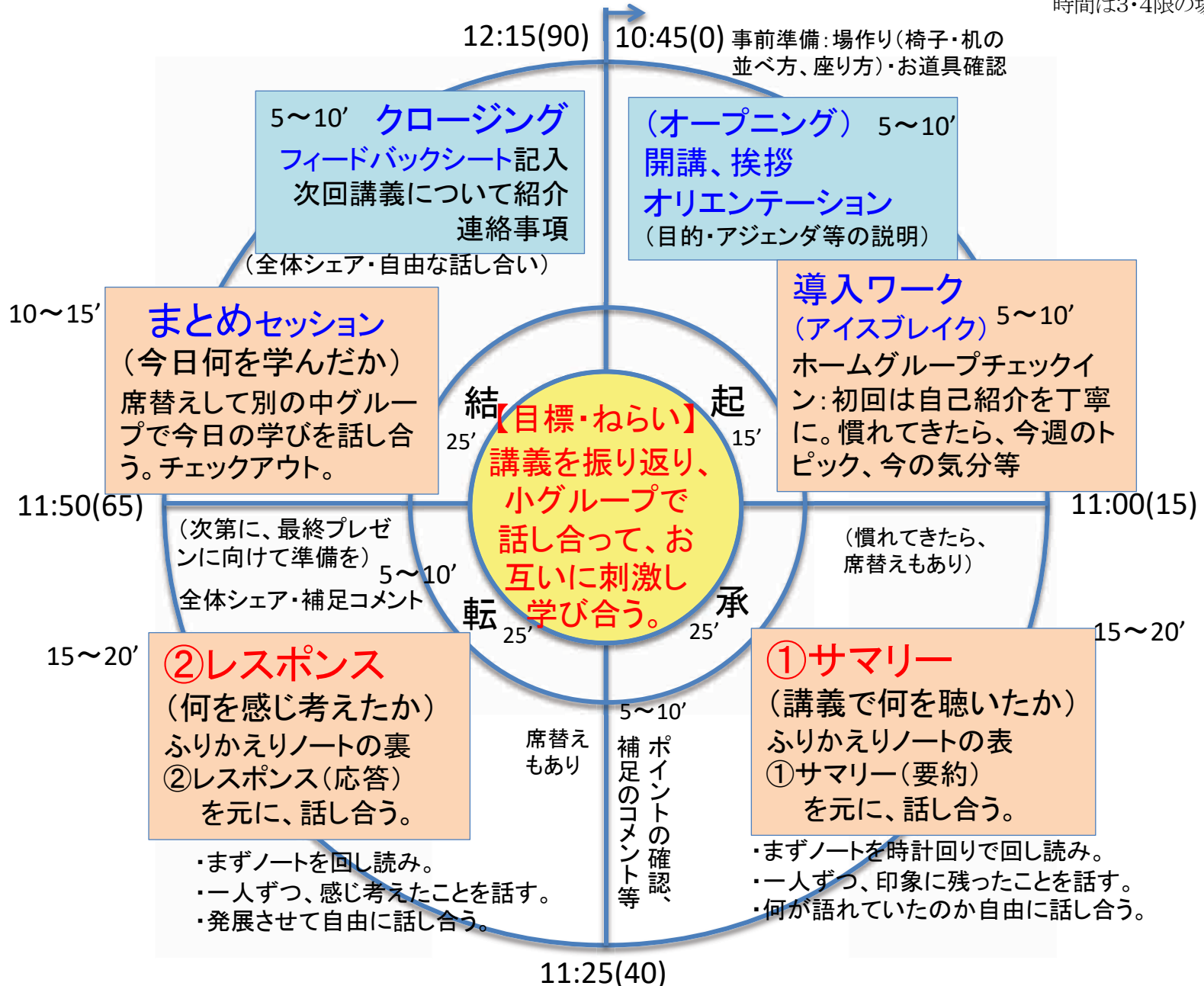


東工大立志プロジェクト「少人数クラス」基本進行案

プログラムデザイン曼荼羅

2016.2.22 中野民夫

・右上から時計回りにご覧下さい。
 時間は3・4限の場合の例。



最後に
今、なぜ「対話」か

対話と議論は違う

「会話」と「対話」と「議論」の違い

丁寧に分けて検討していきたい。

- 「会話」 (conversation)
 - 特定の目的や結論のない、おしゃべり、雑談。
 - 社交や情報を得る上で重要。オンライン時代に注目
- 「対話」 (dialogue)
 - 特定のテーマについて、きちんと向かい合って話し合うこと。二人には限らない。
 - 勝ち負けはなく、新たな「創造」につながる話し合い。
 - 自分の意見に固執せず「**想定**の**保留**」を！（D.ボーム）
- 「議論」 (discussion)
 - 元々、どちらの意見が正しいか、**正解**を競うもの。
 - **勝ち負け**がある（典型例はディベート）。**結論**が求められる。
 - *但し日本では「ディスカッション」をととても幅広い意味で使う。

コミュニケーションの 様々な形 2

高尾がインプロ（即興演劇）の
考え方を体験も交えて
少しだけご紹介します

小グループで対話 3

ぺちやくちゃタイム

- インプロってどうですか？
 - インプロの頑張らない (be average) の考え方をどう思う？
 - 中野さんの頑張らないの考え方と似ている？違う？
 - みんなは頑張ることについてどう思う？
- 先程のグループで、少し振り返りの対話を

最後に、改めてこの授業は 「参加型」で取り組むので、よろしく！

- 聞いているだけの授業、どうですか？
 - たとえ興味のあることでも、眠くなっちゃう。
 - コミュニケーション力や主体性は育まれない。
- 参加体験型の「ワークショップ」を応用
 - 自ら問い、調べ、まとめ、発表し、話し合う。
 - 考え込むよりもまず動いてみる、やってみる。
 - 小グループで対話し、多様な人や意見に触れる。
- 皆で創る場、積極的な参加が不可欠！
 - 学生からのフィードバック、提案、発言歓迎！
 - 楽しく、深く、やりましょう。

次回6/20に向けて

- 座席メモして覚えておいて。来週も同じです。
- 宿題：自分クイズを考えてつくってきてください
- 自分に当てはまる4つの事柄のうち
3つはホント、1つはウソで、
他の人にどれがウソかを見破られないようにする
ゲームです
- A4用紙4つ折りでつくってきてください

たとえば私の場合だと……

A

私は疲れるとプリンを食べます

B

私は最近ジムに通い始めました

C

私には妹が二人います

D

私は皿洗いが苦手です

グーグルフォーム フィードバックシート記入

- 今日はどんな学びがありましたか？どんな気づきや発見がありましたか？
 - 少し静かに自分の中で振り返って、簡潔かつ具体的に、今日やったことの何がどういう学びになったのか、記述してみてください。
 - <https://forms.gle/Z>
 - 出席確認を兼ねるのでこの場で15分以内をお願いします。